昭和31年8月7日　THE GOSHOGAWARASHI OFFICIAL REPORT　（毎月1回15日發行）　1部2円　臨時号

五所川原市役所報

青森縣
発行所　五所川原市役所
電話28・128・329・537
発行兼編集人　市長室・広報係
印刷所　陸奥印刷株式会社

盛澤山の行事で

8日から

繰りひろげる五所川原祭り

盛夏のみちのくを彩るこう例の五所川原まつりは、来る八日から十二日までの五日間開催と決定多彩な行事を全市にくりひろげるが、祭りのクライマックスである四日目の十一日から十二日にかけ、当地方最初の県下青年大会が開催され音楽演劇、各種競技等盛沢山の行事で錦上更らに花を添える。まつりの行事は次ぎのようになっているが、今年は特に料理店組合、旅館組合の協賛で県下獅子舞大会や日本舞踊が提供されるので、例年に見ない賑わいが予想され、会議所や商店関係者の張り切り方も格別です

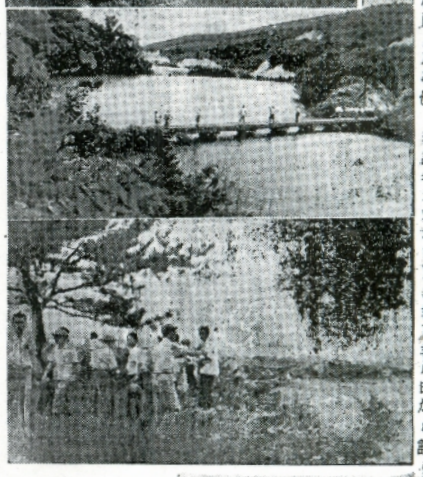
第一日（八日）
△盆栽展、宮賞展　九時―四時
△駒踊り　九時―四時　市内一円（料理店組合提供）
△県下獅子舞大会　九時―四時　招魂堂
△小唄　午後八時―十時
△廣告祭　正午―四時　市内一円
△盆栽展、宮賞展　九時―四時　会議所（最終日まで）

第二日（九日）
△津軽民謡大会　正午―四時、夜時―十時　小学校
△名士仮装行列　十時―一時　市内一円
△名士演藝大会　二時―四時　公民館
△闘犬大会　十時―五時　鶴谷建設

第三日（十日）
△一般仮装行列　正午―四時　市内一円
△NHKのど自慢　正午―三時　小学校
△県下登山囃大会　九時―四時　招魂堂
△花火大会　午後八時―九時　岩木河畔

第四日（十一日）
△山羊品評会　九時―四時
△中学校相撲大会　九時―四時　小学校
△ねぶた　全市内
△日本舞踊　十時―五時　全市内（旅館組合提供）

第五日（十二日）
△ねぶた　全市内
△相撲大会　小学校
△県下短歌大会　瑞昌寺
△六日十後―正午　三好中
△七日十時―正午　飯詰中
△八日九時―十時　昆沙門小
△十一日十時―正午　長橋中
△十一日十時―十時　中川中
△十一日十時―十時　栄中
△十一日十時―十時　小学校
△十一日十時―十時　小学校
△十一日十時―十時　小学校



写真（上）夏なお寒く千古の美を誇る大滝
（中）風光明媚ハイカーの絶えない飯山
（下）由緒深い高館城趾から五所川原方面をのぞむ、愛合グラウンド予定地の説明を聞く内山技官（右端）

飯詰←→神山観光コース

道路の改修が先決

建設省両技官の総合調査

飯詰より神山に至る観光コース及び飯詰総合グラウンド両技官の来市を得、去る一（飯詰）等の案内で行われ建設に関する総合調査は日外崎市長、芳賀建設課長及び仙庭課長、大久保市議ました、炎天の下両技官は街、背後を彩る緑濃き松山の自然美をたたえ、観光資源として立派なものですが、あ市長や現地関係者の説明を聞いながら図面を片手に眺めに調査し、飯詰不動滝などでは百尺余の険そな絶壁を繞つばまで降りて調査する程の熱心さでありました、調査結果についての概評と二ツ森総合グランド予定地建設省としての方針を述べなければ、立派な計画をつくなければ、地元関係者に大きな希望を与えること、地元の人々の親切と協力が最も大事でしょう、我れ我れは本省え帰つてからよく上司にも報告し、市長さんの熱意とも持ち誘れて、人を集めるには先づ道をよくすること、地元の人々の希望に沿うべく、立派な計画をつくり是非これが実現出来ますよう努力したいと思います

施設計画の早急提出

建設省から通達さる

二ツ森総合グラウンド設定について、別項のように送付し、早期実現を期する建設省から技官が派遣され事になりました。

国庫補助対象

公園事業設計方針

公園関係国庫補助事業は速やかに事業効果をあげるべく、基礎的公園施設の早期完成をはかるものとし東施画計は次ぎの方針によるものとする

一、公園施設の範囲等
一、国庫補助対象とする公園施設は次ぎに掲げるものとする
一、園路（舗装）広場
二、修景施設のうち植栽芝生、日蔭樹
三、休養施設　休憩所、ベンチ
四、遊戯施設ぶらんこ、すべり台、ジャングルジム、シーソ、砂場
五、運動施設　陸上競技場、野球場、庭球場、排球場の各種競技施設
六、教養施設のうち野外ステージ
七、便益施設　便所、水飲場
八、管理施設　門柵、排水施設、照明施設、護岸施設、擁壁その他防護施設
（以下略）

大丈夫ですか
消防査察表を御覧下さい
あなたのお宅

私共はこの火消しの役を忠実に守るため、日夜の努力を続けています上に、火事を起す前の予防にもあらゆる努力をつくしていることも又皆さんの御承知のところと思います、火事が起るしさは、火消しの私共より市民の皆さんの方が、よく深刻に胸中にしみているはずしい限りといわなければ要注意のものが一〇五件で事は読んだことでしょう、火事はちょうなりません、しかし火事は特にこの中の三分ノ一は、で宇の通つとの油断からはよく言こんな時に起るということ一旦火事が起きた場合過去内密にせず必ず消防署え御り、江戸われることです、五所川原も又知つて置かねばなりま二回の火にも劣らない程八百八町市も最近火事らしいものはせん、それはつまり安心かの損害を予想される最悪を守ったほとんど見られないように来る油断す、かりに今状態に置かれているという組は組なりました、皆さんの平素年春に来襲した火災予防査事実は、私共の最も注意し組の傳統を持つ『火消し』であることは、姿や形に変ったところそこあれ今も昔も変りありません。

写真、火災警報発令旗はためく中に、今日も久無事でありかしと双眼鏡を手に全市をにらむ見張員

予防査察結果表

（昭和三十一年二月～七月）　福五所川原のみ（防火対象物を除く）

大火を防ぐには初期消火が知らせ下さい、家を留守に電力会社に検査してもらうが、火元を点検し、電など、火災の危険あるものあなたの家に危険と思われ大事です、小さな火事でもする時は